

新型コロナウイルス感染により亡くなられた皆様にお悔み申し上げますと共に、
被患されている皆様に心よりお見舞い申し上げます。
[新型コロナウイルスに対する当社の対応について](#)

AFMウェビナーのご案内（アサイラム・リサーチ事業部） **「知っておきたいAFMの基本技術（2） - 液中観察・測定のための重要なポイント」**

オックスフォード・インストゥルメンツ アサイラム・リサーチ事業部より、**AFMの基礎**が学べるウェビナーのご案内です。

ご好評を頂きました第一回ウェビナー(6/4開催)に続き、第二回は「**液中観察・測定のための重要なポイント**」を初心者ユーザー様の視点から解説を致します。当社以外のAFMユーザー様にもご活用頂ける内容となっておりますので是非この機会をご利用ください。

（第一回「[形状を測るための重要なポイント](#)」はオンデマンド視聴可能です。）

いざ液中測定を行おうとした時に躓きやすい点を、経験豊富な弊社アプリケーションサイエンティストのノウハウを交えてご紹介致します。

特にサンプル調整における「**試料固定**」や「**溶媒の調製や屈折率の考慮**」、「**カンチレバーの選択**」など、液中測定ならではの迷いどころに焦点を当てます。

■ ウェビナー名：

「知っておきたいAFMの基本技術（2） - 液中観察・測定のための重要なポイント」

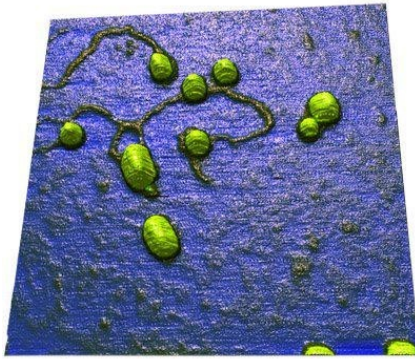
■ 日時：2020年6月26日（金） 16：00～16：30

■ 費用：無料

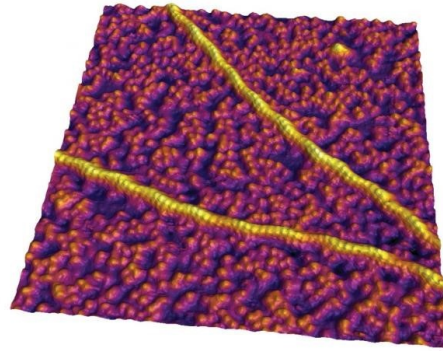
■ 対象レベル：AFM初心者(触ったことがある程度)、未経験者も歓迎

■ 要事前登録：[ウェビナーに登録する](#)

*なお、万全は期しておりますが、お客様のシステム環境や設定によりウェビナーがご覧いただけない場合がございます。ご登録後にConfirmationメール・Remindメールをお送りしますので、事前にシステム要件のご確認と最適化をお願いします。またウェビナー開始時間前に余裕をもってご参加下さい。



(DNA binding to RecBCD Protein)



(Actin Filaments)

液中測定に関するアプリケーション資料・画像集はこちらをご覧ください。

- ◇ [生体分子・膜・集合体](#)
- ◇ [細胞・組織](#)
- ◇ [バイオマテリアル](#)
- ◇ [食品科学](#)
- ◇ [イメージギャラリー](#)

さらに詳しい情報については下記までお問い合わせください。

オックスフォード・インストルメンツ株式会社
アサイラム・リサーチ事業部

日本橋ラボ

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町12-20 日本橋T&Dビル

Tel: +81 (0) 3 6630 4595

Fax: +81 (0) 3 6630 4594

Email: sales.asylum.jp@oxinst.com

オックスフォード・インストルメンツ社 アサイラム・リサーチ事業部について

アサイラム・リサーチ事業部は、AFMが世界中に普及した1990年代後半に、「世界最高のAFMを開発する」ことをめざした革新的なサイエンティストにより創設されました。その独自技術であるblueDrive™ は、光熱効果によるカンチレバーの直接励振技術であり、これを利用したタッピングモードAFMでは、0.3 nm(Ra)と極小の粗さを有する基板を、通常の10倍以上もの速度でスキャンできます。また15時間、1000回測定しても、測定値の標準偏差が1%以内という驚異の安定性・再現性を実現しています。実機を用いたデモンストレーションも随時行っておりますので、是非「世界最高峰のAFM」を体感してください。

© Copyright 2020 Oxford Instruments.

E-mailの配信停止を希望される方は、[こちら](#)をクリックしてください。
プライバシーポリシーは、[こちら](#)をご覧ください。